



NPO 法人フードバンクいるま

2026年度 定期総会(書面)のご案内

日頃からフードバンク活動への参加、ご協力いただきありがとうございます。

当団体の2026年度定期総会は諸般の状況を考慮し、5月24日(日)に書面による総会とさせていただきます。なお各議案については5月9日の理事会で審議済であることを申し添えます。

ご挨拶

会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととご推察いたします。

今年は例年に増して日中と朝晩で寒暖差や周期的な温度差もことさら激しい状況が続いています。お体の変調をきたさないよう十分注意されてそれぞれご活躍くださいますよう心から願っています。

フードバンクいるま(以下当会という)は2018年に設立。2021年10月NPO法人として再スタートを切って4年が経ちました。

この間、当会の目指す「あつめる」「とどける」「つながる」の3本柱はそれぞれ大きく成長してまいりました。

フードドライブ拠点が前年から3ヶ所増え計62拠点となりました。また、団体・企業・個人の方から41.8トン(前年比8トン増)の食糧を集めることができました。(集める活動)

市役所を通して生活困窮世帯への配布を始め地域の地区センターでの配布を開始することができました。フードパントリーでは前年度試行事業として行った地区パントリーを定例化し、年5回の実施ができました。配布食料の取扱量は年間41.2トン。前年比で7.4トンを超えました。(とどける活動)

これらの活動を支えるボランティアの輪も広がっています。

食料の集荷・配布以外にもたくさんの支援者のご協力で「ブルーベリー狩り」や「料理体験」「似顔絵体験」や様々なイベントへの参加を通して地域の連帯の輪を広げてきました。

また、ホームページや毎月の「フードバンクいるま活動報告」発行を通して、広く情報発信をしてきました。

財政面でも多くの方からの寄付金や、運営費の底支えとなる法人会員も増やすことができました。こうした活動ができるのも支えてくださる会員や協力企業・団体・個人の皆様がいるおかげです。

(つながる活動)

しかしながら、まだまだ支援の届かない方がたくさんいる中で、運営基盤の脆弱さもあり、当会の体力(スタッフの確保や財政強化など)を強めていくことが課題です。

みなさまのお力をお借りしながら、運営基盤の構築に努めてまいります。

総会では直接お目にかかってお礼を申し上げるとともに、情報の共有をしたいところではありますが、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

フードバンクいるま 代表理事 田中満枝

総会次第

1 議事録署名人の選出

5月9日の理事会において、以下の方が議事録署名人として選出されました。

氏 氏

2 議事

- (1) 第1号議案 2025年度事業報告
- (2) 第2号議案 2025年度決算報告・監査報告
- (3) 第3号議案 2026年度事業計画（案）
- (4) 第4号議案 2026年度活動予算書（案）
- (5) 第5号議案 定款の変更（案）

3 報告事項

感謝状の贈呈について

2 議事

第1号議案 2025年度事業報告

2025年度 事業報告書 特定非営利活動法人フードバンクいるま

1 事業の成果

2025年度は、物価高で生活困窮に陥り、食品の支援を必要とする人が増えた。当団体はフードドライブ等で集めた食品を、行政と連携して困窮者へ渡す支援を行なった。

「誰一人取り残さない共生社会の実現」のために「あつめる」「とどける」「つながる」活動をした。

(1) あつめる

2025年度寄贈品（単位 トン）

寄贈先	2025年度	前年比	2024年度
フードドライブ	5.9	0.5	5.4
フードバンク上部団体	17.0	4.7	12.3
企業よりの製品・非常食品	6.7	-6.1	12.8
政府米	11.9	10.4	1.5
購入	0.3	-1.5	1.8
合計（単位 トン）	41.8	8.0	33.8

*食品・・・食品入荷量は41.8 t で、昨年比124%であった。

フードドライブの拠点は62カ所となり昨年より0.5t多く集めることができた。

*助成金・・・合計で340,000円頂いた（昨年比21%）計画通り。

助成金に頼らない財務基盤を確立できるよう活動をする。

*寄付金・・・当団体の活動が地域に浸透してきており、1,858,888円を寄付していただいた。（昨年比110%）

会費413,000円（昨年比108%）と合わせると2,271,888円となり財政基盤の基礎を確立できた。

これに伴い、2026年度より倉庫費用の支払いを開始することになった。

(2) とどける

*行政との連携による食品支援

入間市役所の総合相談支援室及び社協と連携して、毎週月曜日に生活困窮者に必要な食品を延べ951件 1993人に渡す支援をした。また一時的な生活困窮に対応する臨時用の食品を市役所や入間市社会福祉協議会に常備した。

食品の受け取りを市役所以外の各地区センターでできるようになり利用者の利便性が上がった。

*フードパントリー活動

児童扶養手当受給者を対象にしたいるまフードパントリー茶いなどを年5回実施し、延べ920世帯が参加した。世帯当たり平均10kgの食品や米を毎回支援した。4月には臨時で米を10kgづつ183世帯に支援した。

世代を限定しない市内6地区を対象にした地区フードパントリーを5回実施し、子育て世帯503世帯 高齢者世帯 44世帯 計547世帯が参加した。世帯当たり平均15kgの食品や米を毎回支援した。

6つの中学校の生徒がボランティアとして合計6回、206名の参加があり、活動を証明するボランティア活動証明書を発行した。参加した中学生にとってはとても良い社会勉強になったことを願う。

*ミルク基金活動

粉ミルクを困っている方が増え、ミルク基金活動に力を入れた結果、346,437円の寄付頂き（昨年551,597円）、粉ミルク144缶を提供した。

(3) つながる

ホームページのリニューアル、活動報告書、市内各種イベントへの参加で、当団体の活動を発信した。

ひとり親世帯向けの料理教室、ブルーベリー狩り、似顔絵体験を実施した。

チャリティーサンタと連携してこども向けの本をクリスマスにプレゼントした。

第2号議案 2025年度決算報告 監査報告


(2025年4月1日～2026年3月31日)

(2025年4月1日から 2026年3月31日まで)
特定非営利活動法人フードバンクいるま

(単位:円)


科 目	予 算		実 績		備 考
I 経常収益					
1 受取会費					
正会員	120,000		110,000	52名	
賛助会員	19,000		23,000	12名	
法人会員	285,000		280,000	33団体	
		424,000		413,000	
2 受取寄付金					
寄付金	1,800,000		1,858,888		
		1,800,000		1,858,888	
3 受取助成金					
赤い羽根(第14回)	250,000		200,000		
入間市社会福祉協議会	40,000		40,000		
埼玉県社会福祉協議会	100,000		100,000		
		390,000		340,000	
4 その他収益					
雑収入	177	177	1,380	1,380	
経常収益計(A)		2,614,177		2,613,268	
II 経常費用					
1 事業費					
食料購入費(困窮者用)	1,570,000		645,671		
生活用品等購入費(困窮者用)	0		0		
水道光熱費	200,000		200,936		
書籍費	0		0		
リース料	110,000		100,668		
保険料	30,000		35,150		
役務費	10,000		11,873		
印刷費	80,000		105,322		
旅費交通費	150,000		256,214		
移転費用積立	100,000		0		
修繕費	10,000		66,000		
雑費	20,000		1,470		
事業費計		2,280,000		1,423,304	
2 管理費					
通信費	220,000		240,466		
消耗品費	200,000		264,683		
諸会費	31,000		31,000		
備品費	0		0		
管理費計		451,000		536,149	
経常費用計(B)		2,731,000		1,959,453	
① 当期正味財産増減額(A-B)				653,815	
② 前期繰越正味財産額				1,189,703	
次期繰越正味財産額(①+②)				1,843,518	

上記のとおり報告します。
会計担当 理事


佐藤 和人 

2026年4月7日に監査した結果、上記のとおり相違ないことを報告します。

監事

矢野 彰子 

監事

佐々木 あさ子 

第3号議案 2026年度事業計画（案）

1 事業の概要

目指したい社会（ビジョン） 誰一人取り残さない地域共生ネットワーク

食品に困った人が決して一人孤独にならないで、食品に手が届くようになる社会を食品ロスの削減と地域住民の手で実現することを目指しています。

(1) あつめる

***食品**・・・食品入荷量は42 t で、**昨年比100%**を目指す。

フードドライブの拠点に対して活動報告を広めることや寄付金の代わりに食品を購入して寄贈していただくことを広くお願いする活動をするなど各拠点とのさらなる強化を行う。

***助成金**・・・合計で**340,000円（昨年比100%）**獲得を目指す。

助成金に頼らない財務基盤を確立できるよう活動をする。

***寄付金**・・・**2,000,000円**を目指す（**昨年比110%**）

(2) とどける

***行政との連携による食品支援**

入間市役所の総合相談支援室と連携して、毎週月曜日に生活困窮者に必要な食品を依頼通り支援する。

また一時的な生活困窮に対応する臨時用の食品を市役所や入間市社会福祉協議会に常備する。

***フードパントリー活動**

児童扶養手当受給者を対象にしたいるまフードパントリー茶いなどを**年5回実施し、延べ1000世帯へ支援を行う。**

世代を限定しない市内6地区を対象にした地区フードパントリーを5回実施し、延べ520世帯を支援する。

6つの中学校の生徒がボランティアとして**合計6回、参加を募る。**

***ミルク基金活動**

ミルク基金活動により、**350,000円**の基金を目指す（**昨年比100%**）

粉ミルクは必要な世帯への上限を設けず最大総数150缶／年を提供する。

***他団体への食品の配布**

登録のあったこども食堂、子供の居場所事業者、福祉施設、困窮者支援団体への配布先の優先度に応じた食品の配布を行う。

***倉庫の確保**

2026年より倉庫の賃貸契約を締結し、家賃月額6万円（税別）の支払いを開始する。

(3) つながる

ホームページ、活動報告書、市内各種イベントへの参加で、当団体の活動を発信する。

ひとり親世帯向けの料理教室、ブルーベリー狩り、似顔絵体験、加治丘陵親子ハイキングを実施する。

チャリティーサンタと連携してこども向けの本をクリスマスにプレゼントする。

第4号議案 2026年度活動予算書(案)

		2026 予算				2026.4.1
				特定非営利活動法人フードバンクいるま		
						(単位:円)
科 目		26年度予算		25年度実績		予算-実績
I 経常収益						
1 受取会費						
正会員		110,000		110,000	52名	0
賛助会員		23,000		23,000	12名	0
法人会員		280,000		280,000	33団体	0
			413,000		413,000	0
2 受取寄付金						
寄付金		2,000,000		1,858,888		141,112
			2,000,000		1,858,888	141,112
3 受取助成金						
赤い羽根		200,000		200,000		
入間市社会福祉協議会		40,000		40,000		
埼玉県社会福祉協議会		100,000		100,000		
			340,000		340,000	0
4 その他収益						
雑収入		1,400	1,400	1,380	1,380	20
経常収益計(A)			2,754,400		2,613,268	141,132
II 経常費用						
1 事業費						
食料購入費(困窮者用)		650,000		645,671		4,329
生活用品等購入費(困窮者用)		0		0		0
水道光熱費		200,000		200,936		-936
書籍費		0		0		0
リース料		110,000		100,668		9,332
保険料		35,000		35,150		-150
役務費		12,000		11,873		127
印刷費		110,000		105,322		4,678
旅費交通費		150,000		256,214		-106,214
倉庫家賃		660,000		0		660,000
修繕費		60,000		66,000		-6,000
雑費		20,000		1,470		18,530
事業費計			2,007,000		1,423,304	583,696
2 管理費						
通信費		240,000		240,466		-466
消耗品費		300,000		264,683		35,317
諸会費		31,000		31,000		0
備品費		0		0		0
管理費計			571,000		536,149	34,851
経常費用計(B)			2,578,000		1,959,453	618,547
① 当期正味財産増減額(A-B)			176,400		653,815	
② 前期繰越正味財産額			1,843,518		1,189,703	0
次期繰越正味財産額(①+②)			2,019,918		1,843,518	0

第5号議案 定款の変更 (案)

第30条2項(総会の議事録) 及び 第39条2項(理事会の議事録)

【変更前】議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が記名、押印又は署名しなければならない。

【変更後】議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、捺印しなければならない。

3. 報告事項

感謝状の贈呈について

「感謝状贈呈の実施要綱」に従い、以下のとおり感謝状を贈呈致します。(順不同、敬称略)

入間ガス株式会社

入間ロータリークラブ

入間南ロータリークラブ

医療法人永仁会入間ハート病院

YASKAWA 未来クラブ

生活協同組合コープみらい (センターと店舗用2枚)

コストコホールセールジャパン株式会社 入間倉庫店

狭山茶農家ささら屋

(株)ファミリーマート (14店舗分)

セブンイレブン (15店舗)

いるま野農業協同組合 (5店舗)

イオンスタイル入間店

明治安田生命相互保険会社入間営業所

株式会社マルハン入間店

生活クラブ生活協同組合入間支部

ウエルシア薬局株式会社 (2店舗)

田中畜産

福祉法人靖和会入間つつじの園

株式会社啓和運輸

入間ブルーベリー園

入間市立藤沢中学校

入間市立上藤沢中学校

入間市立西武中学校

入間市立東金子中学校

入間市立向原中学校

入間市立金子中学校

鈴木誠

いちの会

社会福祉法人創和

フードバンクさやま

もみの木接骨院

西武狭山グリーンヒル

株式会社典祥

小林喜代治

石川玲子

岡本仍子

英(はなぶさ)

りあな

えれな

不動院

株式会社メモリード

総合仏具グループいるまや

株式会社いわさき

狭山ヶ丘高等学校

NPO 法人つばさの会

社会福祉法人埼友会